

## 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2019/08/26 ～2019/10/05 )

### 1. 勉学の状況

9月3日から3日間に渡りオリエンテーションがあり、履修登録の仕方や学校や街の施設の紹介などが行われました。今期は7つの授業を取ることにしました。そのうち、4つが assignment のみで講義がないため、自主学習が主になっています。春は講義がある授業を取りたいと思います。

日本と違い、毎週同じ場所・時間で授業が行われるわけではなく、授業によって始まる時期や時間がバラバラなため、授業はまだ1つしか始まっていません。ここでは、現在始まっている授業について記述したいと思います。

#### Survival Finnish (初級フィンランド語講座)

・おそらく交換留学生の半分ほどは受けているのではないかと思われるほど人気の授業です。オリエンテーションの際に、受講を促されました。内容は至ってシンプルで、自己紹介や数の数え方、動詞の変化の仕方(英語における、be 動詞の変化のようなもの)などの簡単な Finland 語を学ぶ授業です。Finland 語は、in や on など名詞にくっつけてしまう

(例； in Japan → Japanissa) ため、一つ一つの単語がとて長くなる傾向があります。スペルミスに気を付けたいと思います。また、先生の英語は自分にとって少し早いため、時々聞き取れない部分がありますが、周囲の学生や先生に直接聞きに行くなどして補っています。課題の量もそこまで多くないので、ほかの授業にまで負荷がかかるような授業ではなく、楽しく Finland 語を学ぶことができます。

私は Philosophical Faculty, Educational Sciences and Psychology の Psychology コースに属していますが、授業の多くは essay のみが多いです。春は講義中心の授業があるため、そちらに期待したいと思います。

### 2. 生活の状況

8月26日に出国し、同日の午後5時頃に Joensuu 空港に着きました。大学周辺の街中で、東フィンランド大学の Tutor の方と落ち合うことになっていましたので、空港からバスに乗り、街に向かいました。SIMカードを持っていなかったため、携帯が使えなかったのですが、街中のフリーWi-Fiを拾って tutor と連絡を取り、何とか合流することができました。

#### ○住居について

東フィンランド大学には学生寮がないため、Joensuu Elii という、東フィンランド大学が勤めているアパート会社に部屋を借りました。私の家は大学から5キロほど離れています。最初はもっと近い場所に移ろうかと思いましたが、友達もでき、慣れてみると平気なので今のままでいいと思います。

ドイツ人、パキスタン人と3人でシェアハウスをしています。共有スペース（キッチン、トイレ、シャワー）もみんなきれいに使っているため、特に住みにくさは感じていません。前の住居人たちが食器や調理器具、掃除用品を置いて行ってくれたため、こちらに来てほとんど生活用品は買っておりません。部屋はきれいでしたが、電球が壊れており、修理してもらうまでは真っ暗のまま過ごしていました。

#### ○通学について

通学には自転車またはバスを使用しています。家のすぐ前にバス停があったのは幸運でした。バスは30分に一度しか来ませんので、逃さないように気を付けています。また、バス賃の支払いは現金のみで、時間と日によって値段が変わります。運賃の変動を全然覚えられないので、バスに乗るたびに、いくらかを運転手さんに聞いています。優しい運転手さんが多く、笑顔で値段を教えてくださいます。

自転車は街のレンタルサイクルショップで、3か月32€で借りています。冬の時期に自転車に乗るのは怖いので、雪が積もる前（おそらく11月頃）まで自転車を借りるようにしています。

#### ○気候について

私が到着したのは8月下旬でしたが、Tシャツのみでも快適な気温でした。9月の1週目までは、夏のような服装で過ごしていました。9月の初旬から中旬にかけて気温が下がり始め、ヒートテックを使用するようになりました。極暖のヒートテックは持ってきて正解だと思いました。10月4日に初雪が観測され、現在気温は1度ほどです。本格的な冬に備えて、防寒具を揃えていきたいと思います。

#### ○食事について

こちらは主に芋を食べるため、学食ではよく芋が出されます。学食は、Student Union に加入していれば、1.97€で食べることができます。ピュッフエスタイルで、サラダは食べ放題です。

家では、自炊もしています。基本的な料理道具は揃っているため、作ろうと思えば何でも作ることができます。こちらではパスタが安いため、パスタばかり作って食べています。

食材の値段は、日本と同じか少し安い程度だと思います。とても高いだろうと覚悟していた自分にとっては驚きでした。基本的に、物価は日本と同じくらいだと思います。ただ、レストランでご飯を食べるとなると、料理の値段が高いと感じます。なので、外食は週末のみにして、節約しています。

### ○大学生活について

新学期ということもあり、大学ではほぼ毎日といっていいほどイベントが行われています。積極的にいろんなイベントに参加しています。他国の留学生（特にヨーロッパ）は情報収集能力が非常に高く、毎週のように Whatapp（LINE のような SNS ツール）のグループチャットで、自分の探したイベントと一緒に行く人を募集しています。そのため、私はほとんどそのグループチャットで知ったイベント、または友達に教えてもらったイベントに参加しています。これまで、留学生歓迎イベント（Crush Campus）、キノコ狩り、サッカー大会など様々なイベントに参加しました。いろんなイベントに参加する中で、様々な人と知り合い、その人にまたほかのプログラムに誘われるという流れが定番になってきました。留学前は友達ができるかどうか心配していましたが、全く心配する必要はありませんでした。

また、Japanese Language Café（こちらで日本語を学びたい学生に日本語を教える講座）というものを開設することになり、私はその Organizer になりました。約 20 人の参加者がいます。予想していたよりも参加者が多いので、驚きました。参加者がどのレベルの日本語を学びたいのか、また日本語学習に飽きないようにちょっとしたアクティビティーを入れるなどの工夫も必要だと思うので、授業計画をしっかり練りたいと思います。

当然のことですが、こちらでは毎日英語を聞き、話します。他国の留学生は流ちょうに英語を話すため、聞き取れないことも多いですが、わからない部分は聞き直すようにしています。たまに、何の話かわからないまま話が終わることもあり、戸惑います。質問されても、一言目が出てこないため、自分のところで会話がストップしてすることもあります。友達間の会話についていくためにも、意識的に英語を聞く練習、話す練習を取り入れていきたいと思います。また、当然のことですが、毎日普通に過ごしているだけでは英語は身に付きません。受動的ではなく、能動的に英語を身に着けていこうと思います。